

もる此日もかりをばてゐに武蔵野は遠山毛野鷹をさふけ

古語は遠山毛ハ若鷹の毛をさふけといへる也遠山府

ともいひく去年生れ鷹ハ若鷹也一冬鷹をさふけ

冬鷹と云ふ成る去年の毛をさふけ也一冬鷹をさふけ

也又一年と云ふ初句の意をさふけ也

はもの意也果なるもむき軍の限もあふぬを云ふは

多しと云ふがく鷹を野なるも山も鷹をさふけ遠山

毛なる若鷹をさふけ也春日果なる武蔵野は鷹と

云ふ又遠山府と云ふ府山の形なる故也山の形小く

より遠と云ふ也